

4 きららだより

あたかいご寄付、ご奉仕ありがとうございました

(順不同) 令和2年12月17日～令和3年3月16日

〈ご寄付〉

石村 勝一様	現金 100,000円
神本 正秋様	大型加湿機
匿名様	現金 200,000円
千華園様	シクラメン鉢
匿名様	オムツ・パット
城端別院様	涅槃団子
匿名様	現金 30,000円
匿名様	紙オムツ

真宗大谷派高岡教区第

3組第二小会長 馬川透様 D V D

〈ボランティア〉

〈デイサービス〉

真覚寺 石黒 有恒様	法話会
恵林寺 笠原壽至様	法話会
伝栄寺 大村 元様	法話会

行事予定

4月 ホーム 花見ドライブ
デイ 花見ドライブ

6月 ホーム 菖蒲見学
デイ 運動会

5月

ホーム 運動会
デイ 祭りにちなんだ話
野菜苗植え

毎月

◆理髪(月2回)
◆法話会(月1回)
◆お茶会(月1回)

腰痛予防研修

きらら腰痛予防チームでは、介護職員を対象に移乗動作（車いすからベッド）の技術指導を行っています。研修会を行う事で、技術指導と共に、個々が抱える課題の抽出につながっています。

腰痛予防は、ご利用者の保有能力（立位や座位姿勢が保てる等）、福祉用具の活用、職員個人の身体管理、技術指導等の多岐に亘ります。

“腰痛予防は1日にして成らず” “腰痛予防の道も一歩から” …です。



大雪の冬

木本翔吾 作



編 集 後 記

昨年2月から新型コロナウイルスの感染が世界中で流行し、平和な日常生活が一変してしまいました。昨年に引きつき、今年も我慢の年になりそうです。そんな中、アメリカやイギリスなどで、新型コロナウイルスワクチンが開発され、日本でも順次に予防接種が行われますね。予防接種で少しでも感染が治まる事を願うばかりです。

特別養護老人ホーム きらら

〒939-1811 富山県南砺市理休247-1

Tel.0763-62-2323 Fax.0763-62-0084

特別養護老人ホームきらら

検索

特別養護老人ホーム
デイサービスセンター
居宅介護支援事業所

きらら

きららだより

4月号

第一105号

令和3年3月25日発行

社会福祉法人 福寿会



お正月の暮らし

おせちりょうり

生け花

お正月に飾る生け花を利用者と共にいけました。「どこにさせばよいかな?」と話しながら生けておられました。皆さん素敵なお花ができて喜んでおられました。

花みのり

令和3年1月20日(水)鏡開きの餅を使って、ぜんざい作りを行いました。甘く煮た小豆の中に、薄く切って柔らかくした餅を入れました。小豆汁をお椀に入れるご利用者、餅を入れるご利用者、皆さんで分担して行いました。出来上がったぜんざいはとても甘く美味しい仕上がり、おかわりされる方もおられました。

節分

令和3年2月3日(水)節分会を開催しました。

職員が青鬼と赤鬼の衣装を着て、各フロアを回りました。豆に見立てた新聞紙玉を、ご利用者に力一杯投げて頂きました。何度も豆を投げられるご利用者、怖がられるご利用者、喜ばれるご利用者。食堂内には、笑い声や歓声があがり、とても楽しい立春のひとときとなりました。おやつには、皆さんで、福豆や甘酒を頂きました。

成人の抱負



大浦葉月職員

成人を迎えて、わからないことがあったらすぐに誰にでも聞くこと。笑顔でいること。コミュニケーションをとることを目標にして頑張ります。



竹村優我職員

成人式を迎えて、自分も大人の一員となりました。また今年で3年目になるので、これからも頑張っていきたいです。

きららデイサービスセンター

福笑い

お正月には恒例の福笑いを楽しみました。日本の伝統的な遊びと言われています。「右、少し上」等、周りの皆さんの声を頼りに目隠しの中、手探りでおかめさんを仕上げていきました。



～鬼は外、福は内～

豆知識「なぜ炒った大豆をまくのか?」

日本では古くから、大豆には邪気を払う穀靈が宿っていると考えられていました。

生の豆をまくと拾い忘れた時に豆から芽が出てくる可能性があります。節分でまいた豆が芽を出すのは「邪気が芽を出す」として縁起が悪いとされ、芽が出ないように炒った豆が用いられています。



栄養ひなまつり

ひなまつりの献立では、二色の酢飯でひし形のちらし寿司をいただきました。

その他、愛知の赤味噌のおでんなどの全国の郷土料理も多彩です。

